

令和2年度第2回狭山市社会福祉審議会会議録

開催日時 令和2年7月16日(木)
午後2時から午後3時20分まで

開催場所 入曽地域交流センター 大ホール

出席者 19名
朝賀委員、井村委員、宇田委員、小野委員、坂本委員、諏訪委員、
田淵委員、成瀬委員、細井委員、堀委員、宮本委員、室岡委員、
矢吹委員、山口委員、河井臨時委員、木下臨時委員、南川臨時委員、
安永臨時委員、吉田臨時委員

欠席者 2名
寶積委員、中村臨時委員

事務局 10名
小谷野市長、滝嶋福祉こども部長、西澤長寿健康部長、
鷹野福祉こども部次長(福祉政策課長兼務)、
吉崎長寿安心課介護保険担当課長、小林長寿安心課介護事業担当、柿沼
長寿安心課福祉・いきがい支援担当主幹、堀口長寿安心課福祉・いきが
い支援担当主幹、堀越福祉政策課総務・政策担当主査、小田切福祉政策
課総務・政策担当主査

傍聴者 1名

- 1 委嘱状交付
- 2 市長あいさつ
- 3 委員自己紹介等
- 4 正副会長の選出 会長に宮本委員、副会長に諏訪副委員を選出
- 5 議事

(1) 社会福祉審議会の概要について (会議資料1)

福祉政策課長から説明。

〈質疑応答〉特になし

(2) 第4期狭山市地域福祉計画及び第8期狭山市高齢者福祉計画・介護保険事
業計画の策定について (会議資料2)

福祉政策課長及び長寿安心課介護保険担当課長から説明。

〈質疑応答〉

副会長 狭山市の要介護認定率が低い状況であるが、安心してしていると急に認
定率が上がるので、認定率が低い原因を把握しておく必要がある。資
料の2ページ目に「2025年、2040年を見据えた」とあるが、本当に大

切なのは、団塊の世代が80歳代になる2030年台から2040年台をどう乗り切るかである。そこを見誤らないようにしなければならない。また、団塊ジュニア世代が2050年台に80歳代になるので、そこまでをどう繋げていくかも大切になっていく。議論の中でデータなどをよく読み取る必要がある。

担当課長 いただいた意見を参考にして検討していく。

会 長 地域福祉計画の庁内体制の中で庁内推進会議とあるが、これは既に立ち上がっているのか。また、以前の審議会の中で福祉関係部署以外も関連する部署が参加すると言っていたが、具体的にはどの部署を入れるのか。

担当課長 会議は既に立ち上がっている。参加する固定の部署は福祉に関連する課や行政経営部門の課であるが、それ以外は議事に応じて関連する課を招集していく。例えば、まちづくりであると空き家対策の担当である都市計画課にも参加してもらうということになる。狭山市地域福祉庁内推進会議設置要綱に、「議長は、必要があると認められるときは、別表に掲げる者以外の者に対し、会議に出席を求めることができる。」と規定されている。

会 長 地域の支援体制となると福祉や健康のみならず、住宅や防災、また消費生活の問題もかかわってくるので、テーマに沿って適切な部署に参加してもらい、地域福祉に関心をもってもらえるよう配慮してもらいたい。

(3) 専門部会の委員について

福祉政策課長から専門部会のメンバーの案を示したところ、案とは違う部会を希望する委員がいた。会長の発言により、本日は委員本人が希望する部会へ出席していただき、人数等の調整は後日専門部会の事務局が行うことになった。

6 その他

事務局より、社会福祉審議会終了後行われる専門部会について案内をした。

7 閉会

〈終了〉